

地下鉄車内で飲食すると 500ドル! シンガポールの罰 金制度が厳しいのはなぜ?

電車やバスの中でペットボトルのドリンクを飲んでも日本では誰からもとがめられないが、シンガポールでは500ドルの罰金だ。なぜ??

🌐 罰金制度の国シンガポール

シンガポールは“**Fine Country**”と呼ばれているが、直訳すると「美しい国」「素晴らしい国」である。確かにこの国は治安がよく、街並みも美しい。しかし、“Fine”という言葉には、もう一つまったく別の意味がある。それは「罰金を科する」という意味である。シンガポールは日本人の感覚からは「エッ何でそこまで?」と思えるほど超厳格な罰金制度が徹底された国なのだ。

道路へのゴミのポイ捨てや唾を吐くのはもちろん罰金、自宅であっても勝手に庭の樹木を伐採すると罰金、泥酔してベンチで寝込むと罰金、国内ヘチューインガムを持ち込むと罰金、違反者には海外からの旅行者であろうと容赦なく罰金が科せられる。

罰金以外にも、同性愛者には鞭打ちの刑、煙草の吸い殻を道路脇の排水溝に捨てた人に「強制労働の奉仕」と書かれた蛍光色のベストを着用させて、道路など公共の場所で3時間の清掃作業命令、公営住宅の窓から外へ物を投げ捨てると、政府が強制的に家を買上げ、その後5年間は公営住宅に住まわせないなど、とにかく法律を犯した者に対する刑罰の厳しさはハンパじゃない。

🌐 なぜ、そんなに厳しいのか

「国民の私生活に干渉しすぎると非難されるが、その通りだ。しかし、もし政府がそれをしてこなければ、今日のわが国の経済

発展はあり得なかつただろう。何が正しいのかは政府が決める。国民がどう思うかは気にしてはいけない」——建国以来、首相として30年以上もこの国を指導し、現在のシンガポールの繁栄を築き上げたリー・クアンユーの言葉である。

彼はこの国の近代化を進めるため、徹底した管理や規制を強めた。たとえば、今でこそシンガポールは公園、街路樹、住宅など緑豊かな都市だが、そのほとんどは1960年代から進められた緑化政策によって植えられた外来種の樹木だ。緑を増やし、それを適切に維持管理していくことは、この国の重要な政策であり、そのため、法律によってたとえ私有地であっても許可なしに樹木の伐採や移植をすることを禁じ、長く伸びた雑草の除去や芝の手入れなどを適切に行うよう国民に義務づけたのである。

この国が、言語・宗教・習慣などの異なる人々が住む**多民族国家**であるという背景もある。マレー人を中心に国民の約15%は敬虔なイスラム教徒だが、彼らは飲酒をせず、非イスラム教徒の酔っぱらいが街に増えると、無用なトラブルが増える。また、かつては、この国の華人（中国系住民）たちにとってゴミを住宅の窓から外へ捨てるのは日常の習慣で路上は当然ゴミだらけ、公園内やエレベータ内で平気で排便する人もいた。このように生活習慣や価値観が異なる多様な住民が混在するシンガポールでは、いくら欧米風のモラルやマナーを説いても効果は期待できない。民主主義を標榜し、欧米のように市民の自由を優先させるとこの国は崩壊してしまうと考えたリー・クアンユーは個人の利益や人権よりも社会の安定や秩序を優先させることによって国家の統一と発展を目指したのである。

🌐 そして現状は……

今やシンガポールの1人あたりGDPは世界第9位(2014)、これは日本の27位を上回り、中東を除くアジアでは最高位である。さらに、アメリカの調査会社が発表した「世界の住みやすい都市ランキング」でも、シンガポールは2015年まで15年連続でアジアNo.1に選ばれた。インフラが充実し、清潔で安全な都市として高い評価を受けている。

しかし、街の景観は美しくなったが、この国の人々の公共心や道徳心はホントに変わったのだろうか。公共交通機関内の飲食は法律によって禁止されているが、屋台街が多いシンガポールでは食べ歩きは伝統文化の一つであり、規制のないデパートやショッピングモールの中では食べ歩く人々がやたら多い。携帯電話の使用については法規制がなく、地下鉄車内であろうと高級レストランの中であろうと、どこでも人目をはばからず、大きな声で話し出すのはこの国ではごく普通の光景だ(スマホの普及で最近はやや減ったそうだが…)。バスや地下鉄に乗車する際も日本人のようにきちんと並んで待つことはせず、電車が到着すると後ろからの割り込みは当たり前、降りる人を優先することもしない。

確かに彼らは罰金対象となるルールはよく守るが、日本人から見れば「それは当たり前のマナーでしょう」ということでも法規制がなければ無頓着になることが多い。今はまだこの国の秩序は管理と規制によって保たれている。しかし、環境が人をつくるといわれるように、やがては、罰金などで拘束しなくても人々がモラルとマナーを向上させ、シンガポールが世界の国々の模範となる真の“Fine Country(美しい国)”になることを期待したい。

まだまだあるシンガポールのこんな法律

◎ 植木鉢の受け皿に水を入れたままにはいけない

シンガポールではデング熱などの感染症の患者が年間数万人にのぼる。それらを媒介している蚊の発生源を絶つため、環境庁職員が予告なしで各家庭を訪問し、バケツや植木鉢の受け皿などに水を溜めたまま放置し、ボウフラを発生させていないかをチェックする。違反すると最大1000ドルの罰金、または3カ月以下の懲役である。

◎ 車のガソリンはタンクに3/4以上入れておくこと

この法律はシンガポールから隣国のマレーシアに出国する車を対象としている。マレーシアのガソリン価格はシンガポールの半分以下なので、以前は給油のためにマレーシアに行く人が多く、政府はガソリン税の収入を増やすため、給油目的の車を取り締まる3クォータータンク法を制定した。違反者には500ドルの罰金が科せられる。

◎ 家の中でも裸でいると逮捕される場合がある

公共の場所で裸でいると日本でも軽犯罪だが、シンガポールでは自宅などの私的な場所であっても、外から第三者に見える場所で裸になってはいけない。バスルームから出て裸のまま自室でくつろいでいた男性が、向かいのマンションから目撃した住民に通報され、逮捕された例がある。2000ドル以下の罰金または3カ月以下の禁固。

◎ 公園で野鳥や動物への餌やりの禁止—罰金10000ドル

◎ 無許可の路上パフォーマンス(ダンスなど)の禁止—罰金5000ドル

◎ 公共のトイレで使用後に水を流し忘れると処罰—罰金1000ドル

◎ 横断歩道や歩道橋以外の場所での道路横断の禁止—罰金50ドル

◎ 地下鉄を利用する場合、改札を通過してから4つ目の駅までは40分以内に改札を出なければならない—違反金2ドル

◎ 公共の建物に落書きをすると鞭打ちの刑 など

※罰金額は基本であって、実際は初犯や再犯などにより異なる。

世界には、左側通行と右側通行の国があるのはなぜ？

日本では車は道路の左側を通行するが、海外へ行くとほとんどの国が右側通行なのはなぜだろう？ 日本以外に左側通行の国ってあるのだろうか？

🌐 左側通行の事情

「人は右、車は左」、日本人なら誰でも物心が付いた頃から知っているこのルールができたのは、戦後間もない1949（昭和24）年の道路交通取締法の改正後のことだ。実はそれまで日本では人も車も左側通行が原則だった。

すでに江戸時代には、道幅の狭い日本ではすれ違いの際に左側を通ることが慣習になっていた。このことは、5代将軍綱吉の頃の1691年にオランダ商館の医師として来日したドイツ人ケンペルがまとめた『江戸参府旅行日記』の中に記述されている。

左側通行になった理由として、武士が道ですれ違うとき、右側を通ると左腰に差した刀の鞘同士が当たるのでそれを避けるためとか、敵と対面したとき、左側にいるほうが刀を抜きやすいからとか、そんな説があるが真偽は不明だ。武士は当時の人口のほんの数%、一般庶民はどうだったのかという疑問が残る。明治に入って文明開化の時代を迎えると、馬車の往来が増え、鉄道が開通し、車も人も左側を通行することが法制化される。

海外はどうだったのだろうか。古代ローマ帝国でも遺跡に残された轍のあとから、荷車が左側通行をしていたことが明らかになっており、ヨーロッパも近世以前は左側通行が一般的だったようだ。古代エジプトが左側通行をしていたという考古学者もい

る。つまり、左側通行は世界共通だったわけだ。

その理由として興味深い説がある。人の心臓は左側にあるので、これを守ろうと人は本能的に左側を歩くのだとか、右利きの人は右足を強く蹴って歩くので自然と左寄りになってしまうのだという説だ。確かにいくら小さい頃から学校で右側歩行を教えられても、人は商店街や地下街、駅の階段など人混みの中では左側を歩く傾向がある。生理学や人類学の専門家のこの説に対する見解を聞いてみたいものだ。

🌐 右側通行の事情

しかし、現在では日本のように車が道路の左側を走行している国は世界では少数派で49カ国、全体の1/4ほどの国々にすぎない。これを距離で見ると、実に世界の道路の約90%は右側通行である。本来は人も車も左側通行が主流であったはずなのに、なぜ車は右側通行の国が増えたのだろうか。

その理由として、近世以降、ヨーロッパで大型馬車が普及したことが考えられる。大型馬車では御者は車の左側に座る。御者は右手で鞭をふるうが、馬を並べて繋ぐ大型馬車では、左側に座る

右側通行の馬車



ほうが鞭の操作に都合がよいのだ。そして、馬車同士が道路ですれ違うときに鞭と鞭がぶつからないように、また左側に座った御者から対向の馬車が見やすいように、馬車は道路の右側に寄せて走るようになった。1794年、フランス革命後のパリでまず馬車の右側通行が法律で決まり、1800年代初頭、ナポレオンがヨーロッパ大陸を支配下に収めると、それが一気にヨーロッパ中に広まる。開拓のため、大型馬車が発達したアメリカでも右側通行が採用されたが、ナポレオンと対立していたイギリスは、国土が狭く、大型馬車があまり普及していなかったこともあって、その後も左側通行が維持された。

そして、現在ではオーストラリア、インド、東アフリカ諸国などかつてイギリスの植民地だった国々では本国と同じ左側通行が採用されているが、世界の多くの国は欧米で主流となった右側通行を採用するようになった。

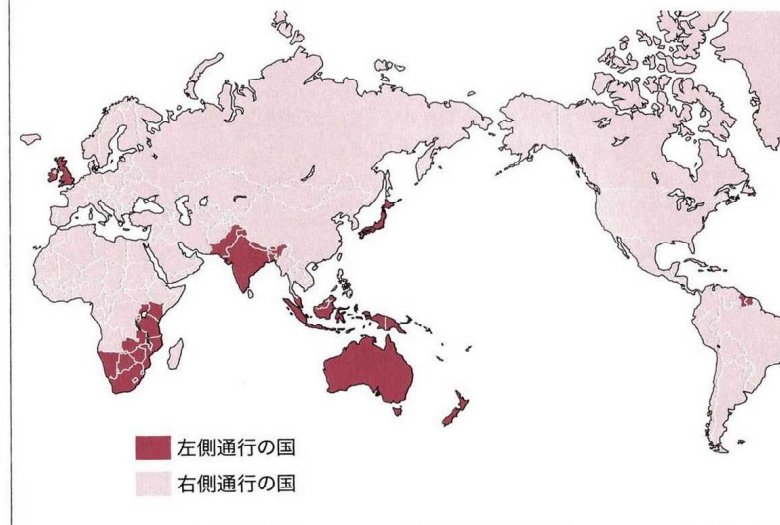
🌐 船や飛行機はどっち側通行？

陸上では右側通行と左側通行の国があるが、世界中につながっている海では、安全航行のためにどこの国の船であっても右側を航行することが万国共通の原則である。空も海以上に広いのだがらどこを飛んでもよさそうなものだが、やはり飛行機も右側通行が国際ルールだ。

ちなみに船は接岸するとき左舷を岸に着けるが、これはかつてヨーロッパの船は、舵が右手で操作しやすいよう中央でなく右舷にあり、船は舵を破損しないよう必ず左舷から接岸したためだ。そのルールが飛行機にも適用され、電車やバスは右側から乗降する国でも、空港での旅客機の乗降は左側である。

自動車の左側通行と右側通行の国々

〈資料：「world standards」〉



フランス・パリの右側通行



『ドラえもん』がアメリカで40年間放映されなかったワケ

サッカー界のスーパーstarであるメッシ（アルゼンチン）やジダン（フランス）は『キャプテン翼』の影響を受け、サッカーを始めたという。日本アニメは海外でも人気である。しかし、よい評判ばかりではない。

🌐 日本アニメはなぜ世界で支持されたのか

日本のアニメは1970～80年代に本格的に海外進出を始め、今や“ANIME”や“MANGA”は世界で通じる言葉になっている。各国語に翻訳された関連コミックが次々と出版され、ポケモンやドラえもんなどの関連グッズは海賊版が多発するほど売れ行きが好調である。もう10年以上も前になるが、あるテレビ番組で「世界に進出した日本の人気アニメベスト100」というランキングが発表された。結果を見ると『ドラゴンボール』や『ポケモン』など特定の人気アニメだけではなく、多くの日本アニメが世界中の人たちの心をつかんでいることがわかる。

日本アニメが海外で人気を博している理由は何だろうか。第一に考えられるのは、日本アニメは子どもから大人までが楽しめる高いクオリティを持っていることだ。海外では、アニメといえど10歳くらいまでの小さな子どもが見るものとされ、ストーリーよりもスピーディーな映像展開が特徴のシンプルなもの主流だったが、日本アニメには、アクション、SF、スポーツ、青春もの、童話など10代を中心に幅広い年齢層の人が楽しめるストーリー性の豊かな作品が多い。

次に、アニメ作品の制作には通常のテレビ番組の制作より、資金力・企画力・技術力などが必要だが、アメリカと日本以外には

	(支持者数)	(放映国数)
① ドラゴンボール	622人	70カ国
② ポケットモンスター	488人	93カ国
③ セーラームーン	473人	40カ国
④ ドラえもん	430人	35カ国
⑤ キャプテン翼	393人	50カ国
⑥ とっとこハム太郎	380人	36カ国
⑦ アルプスの少女ハイジ	359人	40カ国
⑧ クレヨンしんちゃん	357人	47カ国
⑨ 鉄腕アトム	319人	40カ国
⑩ デジモンアドベンチャー	297人	60カ国
⑪ ルパン三世	265人	40カ国
⑫ Dr. スランプアラレちゃん	260人	28カ国
⑬ ジャングル大帝	251人	20カ国
⑭ 聖闘士星矢	236人	80カ国
⑮ タイガーマスク	213人	42カ国
⑯ ベルサイユのバラ	199人	23カ国
⑰ 北斗の拳	186人	40カ国
⑱ 母をたずねて三千里	183人	40カ国
⑲ アタック No.1	179人	30カ国
⑳ 忍者ハットリくん	178人	17カ国

支持者数は世界各国の1000人を対象に好きなアニメを調査(2004)、放映国数はwikifarm等を参照(2015)。2004年の調査時には放映されていなかった『NARUTO』が現在では世界80カ国以上、劇場版では『崖の上のポニョ』が約60カ国、NHK制作のアニメ版『どーもくん』は100カ国以上で放送されている。

アニメ番組を商業レベルで制作できる環境を持った国がほとんどないことも大きな理由だ。そのため、放映権を安く購入でき、視聴率で実績のある日本アニメが多く、多くの国で重宝されている。

また、1980年代からアジアやアフリカの新興国で急速にテレビが普及し始めたのも、日本アニメの広まりを後押ししている。

🌐 日本アニメを禁止した国々の事情

『ドラえもん』は1980年代には東南アジアやヨーロッパで、90年代以降は中東や中南米でもテレビ放映されるようになった。とくに東南アジアでの人気は現在でも絶大で、視聴率が70%を超えることもあり、SONYやHONDAを知らなくてもDORAEMONは大人たちでも知っているという。

アメリカでは2014年からドラえもんのテレビ放送が始まった。しかし、ドラえもんがテレビアニメ化されたのは1973年だから、なんとドラえもんのアメリカ進出には41年も費やしたことになる。なぜだろう。アメリカでは教育士の観点から子ども向けのテレビ番組には厳しい基準が定められており、ドラえもんがそれに引っかかっていたのだ。

のび太は自分の力で困難を克服しようとせず、いつもドラえもんの道具ばかりに依存する自信なげで怠惰なキャラクターが失格、叱ってばかりいる母親、気に入らないことがあるとすぐ人を殴るジャイアンも失格、しずかちゃんですえ女の子らしさを強調しすぎてジェンダーへの偏った意識を感じさせるのは問題ありとされ、ドラえもんがどら焼きをドカ食いするシーンも子どもたちの食習慣に悪影響と判断された。

そんなのは言いがかりじゃないかと我々は思うのだが、このよ

『ドラゴンボール』をテレビ放映した国々



うな事例は意外と多い。フランスでは80年代後半に、『ドラゴンボール』や『北斗の拳』などが人気だったが、暴力シーンが問題視され、その後長らく放送が禁止になった。ドイツでは、『キン肉マン』に登場したブロッケン Jr. というキャラクターが、ナチスドイツをモチーフにしていると指摘されて放映が禁止になり、年長者を敬う儒教文化の韓国では、『クレヨンしんちゃん』の親に対する態度がよくないと批判された。

中東のイスラム諸国では『ポケモン』が禁止されている。ポケモンのカードを交換しながら揃えていく行為はイスラムで禁止されている賭博にあたり、ポケモンの進化という考え方がイスラムの教義に反するという判断である。

そんな細かいことにまで目くじらを立てなくてもよいではないかという考え方はもちろんあるだろう。しかし、日本アニメの海

外での売り上げは2005年をピークに近年は伸び悩んでいる。国が違えば、文化や価値観が違うのは当然であり、日本人はそのことを真摯に受け止めねばならない。

🌐 クールジャパン戦略とは

2010年より経済産業省は**クールジャパン (COOL JAPAN) 戦略**と名付けた日本文化の輸出プロジェクトを進めている。COOLとはかっこいいという意味で、このプロジェクトでは食文化や伝統工芸も含めているが、本来はマンガ、アニメ、ゲーム、渋谷や原宿のファッションなどのポップカルチャー（大衆文化）を指す。もちろん、かつてのように、日本のスタイルそのままでは今や海外の人々には受け入れてもらえない。

2012年末からクールジャパン戦略モデル事業として、往年の人気アニメ『巨人の星』を、インド風にリメイクした『スーラジ・ザ・ライジングスター』の放送が現地で始まった。インド版では、ストーリーはほぼ原作通りだが、舞台をインド、野球をクリケット、主人公の星飛雄馬をスーラジとインド名にするなどローカライズし、インドの子どもたちの熱狂的な人気を集めた。

ドラえもんのアメ리카放映の実現に際しても、原作本来のイメージを尊重しながらも、設定がかなりアメリカナイズされた。女性が肌を出すことがタブーとされているイスラム教国のマレーシアやインドネシアで放映されるドラえもんは、定番のしずかちゃんの入浴シーンでは、何としずかちゃんは水着を着ている。「いくらなんでもこれはちょっと…」と日本人は思うだろうが、世界の国々にはそれぞれのライフスタイルや価値観・道徳がある。それらへの尊重や配慮をする中で、相手国に受け入れたいと思っ

てもらえるような日本の魅力や技術を世界に発信することが、今、我が国が目指しているクールジャパン戦略である。

アメリカ版『ドラえもん』はこうなっている		
	【日本では】	【アメリカでは】
タイトル	ドラえもん	→ Doraemon (ドラえもん)
舞台	東京都内の架空の町	→ アメリカ国内の架空の町
人物	のび太 ジャイアン スネ夫 しずかちゃん ジャイ子 出来杉	→ Noby (ノビー) → Big G (ビッグジー) → Sneech (スニーチ) → Sue (スー) → Li'l G (リトル・ジー) → Ace (エース)
道具	どこでもドア タケコプター	→ Anywhere Door (エニウェアドア) → hopster (ホプター)
シーン		<ul style="list-style-type: none"> ・ 頭につけるタケコプターを、アメリカではエンゼルの翼のように背中に付ける。 ・ ドラえもんはタヌキに間違えられて怒るが、アメリカのドラえもんはアザラシに間違えられて怒る。 ・ ドラえもんはどら焼きをドカ食いするが、アメリカのドラえもんはヤミーバンが好物で、ドカ食いはしない。 ・ 他にも、石焼き芋の屋台がポップコーンのトラック、野比家の食事シーンはフォークとナイフ、のび太の小遣いはドル紙幣、とにかくアメリカナイズが徹底されている。